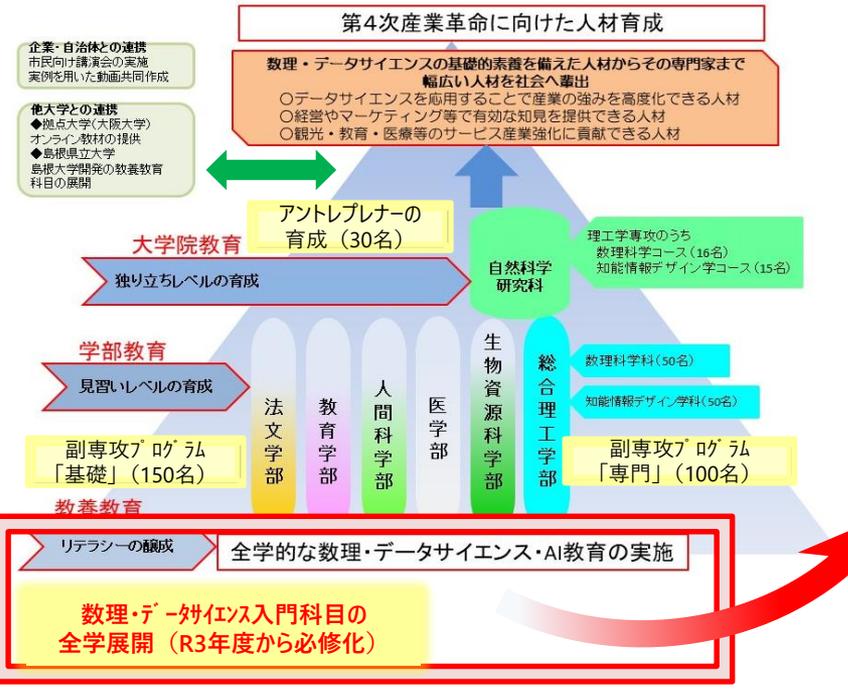


# 島根大学 数理・データサイエンスリテラシー教育プログラム

## 【プログラムの目的】

本プログラムを通して、数理・データサイエンスにおけるリテラシーである「データを正しく読む力」や「データを正確に伝える力」を身に付けることができる。また、AIの成功事例とその限界について知ることで、AIについての理解を深め、これからの社会における変化を柔軟に受け入れることができるようになる。

## 【島根大学における数理・データサイエンス・AI教育体系】



## 【プログラム内容】

### 社会におけるデータサイエンス

ネット販売の「おすすめ」提示などの身近な題材や、各学部の専門分野における研究事例を用いて、データサイエンスが社会の様々な場面で活用され、社会に変化をもたらしていることを知る  
AIの成功事例とその限界について学ぶ

### データリテラシー

データは何を訴えているのかといったデータの見方、データ解析の基本的な手法、グラフィック手法を学び、データを正しく読む力を身に付ける  
基本的なデータ解析手法を自ら実行できるようになる

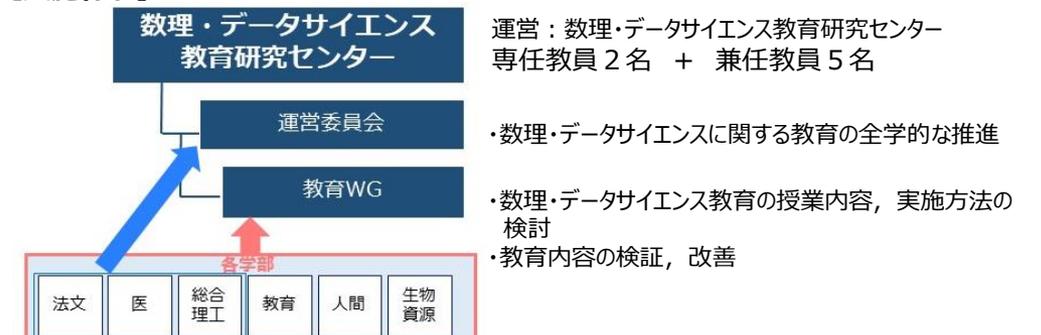
### データ・AI利活用における留意事項

アルゴリズムバイアスなどによる倫理的な問題を通して、AIを正しく理解する。  
間違ったデータ分析の例を通してデータの改ざん、捏造等により、簡単にデータが歪められてしまう危険を学ぶ。

### データ・AI利活用に必要な数学・統計

統計及び数理の基礎、時系列データ、教師あり学習 (回帰分析など) を用いたデータ活用実践 などの統計手法を学ぶ

## 【実施体制】



## 【成果目標値・実績値】

○ (リテラシーレベル) →数理・データサイエンス教育の必修化  
・令和3年度 (2021年度) よりリテラシーレベルの教育を全学必修化  
全学部1年 (入学定員1,157名) が履修

実績値：2018年度	履修者	176名 (開設初年度：4クラス)
	(医学科)	102名
2019年度	履修者	278名 (6クラス)
	(医学科)	102名
2020年度	履修者	358名 (8クラス) ※オンデマンド
	(医学科)	102名

◎毎年度全学部から履修